

とんがらし通信



バラの香りにうっとり
花の匂いにつつまれて

 No. 254 

～主な内容～

- ・施設長コラム ・安奈さん成人を祝う会
- ・名里さんとりモート交流
- ・活動紹介(芋煮会、炭火で焼こう、ひがしもの、カフェ外出) ・研修報告
- ・Close-up! ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2021年11月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



コロナ禍に季節感を深掘りしてみたら・・・再び の巻

秋に入り、なぜか突然コロナウイルスの感染が落ち着いてきました。メディアでもいろいろな理由が取り沙汰されていますが、SARSと同様にウイルスのコピーミスによるものであれば、いったんは落ち着く方向に向かうのでしょうか。ただ、欧州では再び感染爆発ともいえる状況に見舞われているという報道もありますので、今後も第6波来襲を見据えた対策を継続していくことに変わりはありません。

この落ち着いた状況を有効に～！ということで、11月に入り外出等の活動制限を少し緩和して、みんなせつせとお出かけに勤しんでいます。アウトドアで久しぶりのバーベキューを楽しんだり、塩釜の『ひがしもの』に舌鼓を打ったり、リンゴ狩りに笑顔を見せたり…。季節は秋から冬に向かいますが、これまで我慢していた『季節を感じる活動』を少しだけ再開させて、みんなの笑顔も増えてきたように感じます。そだそだ、季節を感じるといえば……。前々前号で『二十四節気』を深掘りしてみたらとっても面白かったので、調子に乗って今回は『七十二候（しちじゅうにこう）』を見ていくのだ！いつかやろうと思ってたのね～。

とん通251号で見たように、二十四節気は半月ごとの季節の変化を表した考え方ですが、『七十二候』は二十四節気をさらに5日ごとに等分した季節の変化を表したものです。二十四節気よりもさらに身近な気象や動植物の季節変化が感じられて、興味深いです。今年の立冬は11月7日でしたが、これから二十四節気の『小雪』（11月22日）『大雪』（12月7日）『冬至』

（12月22日）と季節が進んでいくわけです。その間の七十二候には例えば『地始凍（ちはじめてこおる）』『朔風払葉（きたかぜこのはをはらう）』『熊蟄穴（くまあなにこもる）』などがあります。秋が深まって本格的な冬の到来です。地面が初めて凍り付いたり、木枯らしが強く吹いたり、冬眠のために熊が巣穴に籠る様子が目に浮かびますね。『冬至』から『春分』に至る間には『雪下出麦（ゆきわたりてむぎのびる）』『水沢腹堅（さわみずこおりつめる）』『東風解凍（はるかぜこおりをとく）』『霞始翳（かすみはじめてたなびく）』『桃始笑（ももはじめてさく）』などが。沢の水もカチカチに凍るような厳しい寒さを経て、少しずつ明るい春の気配を感じるワクワク感が伝わってきます。『春分』から『夏至』の間には『鴻雁北（こうがんかえる）』『牡丹華（ぼたんはなさく）』『蚯蚓出（みみずいずる）』『腐草為螢（くされたるくさほたるとなる）』など。本格的な春を迎え、渡り鳥が北に帰って行ったり、ミミズが土から這い出してきたり…。夏に向かって動植物が躍動する様が見事に表現されています。『夏至』から『秋分』を経て『立冬』までには、『温風至（あつかぜいたる）』『大雨時行（たいうときどきふる）』『涼風至（すずかぜいたる）』『草露白（くさのつゆしろし）』『蟄虫坏戸（むしかくれてとをふさぐ）』『楓蔦黄（もみじつたきばむ）』などがあります。暑い暑い夏もあっという間に過ぎて、なんとなくもの悲しさの漂う秋から初冬の様子が伝わってきます。

日本には四季があります。それぞれの季節の変わり目にはその移ろいをふと意識することがありますが、忙しい日常に流されてまた忘れがちになったりします。昔の人は『二十四節気』や『七十二候』を通して、日々の生活の中で身近に季節を感じていたというのがとても興味深いです。気が張り詰める今の時代だからこそ、時にはゆっくり自然を愛でて季節を感じてみるのもよいのではないのでしょうか。

（管理者 山口 収）

新成人

溝口安奈さん、成人を祝う会



去る11月19日、めいぶるの溝口安奈さんの成人を祝う会を行いました。いつも外注している祝い菓子ですが、今回はめいぶるで安奈さんと一緒に作りました！かわいいクッキーです！

当日、ヘアアレンジをしてもらい素敵なワンピースを着て上機嫌の安奈さん。会ではお世話になった支援学校の先生からのビデオメッセージに、懐かしさを感じながら元気に返事していました。生い立ちを振り返るスライドでは自身の幼い頃の写真をじっと見つめていました。つどいの仲間からフォトアルバムのプレゼント

と花束をもらい、さらに笑顔に！お父様からのお手紙では安奈さんへの深い愛情が感じられ、安奈さんもしみじみとしていたような……。東北福祉大学吹奏楽部からミニコンサートの映像のプレゼントがあり、事前に顔を合わせていたこともあって驚きつつ楽しんでいました。最後に安奈さんから来場者へのメッセージでは、新成人への抱負を「これからもお仕事頑張ります！ありがとうね！」と力強く表明してくれました。

安奈さん、新成人おめでとうございます！これからもつどいの家の仲間とたくさんの経験をしていきましょうね！
(記：小川)

仙台⇄横浜 333km !!

距離にもコロナにも負けない！ 愛子さんのweb交流

『山口さ～ん。久しぶりに名里さんとリモートでお話したいです～！』とんがらし通信でもおなじみの菊地愛子さんから、先日こんなことを言われました。コロナウイルス感染拡大前は毎年いろいろなところに旅行に行っていた愛子さんですが、こういう状況になって旅行はおろかヘルパーさんとの外出も制限が続いていて、我慢ガマンの生活を強いられているのです。社交的な愛子さんは旅先で出会った方々とすぐに仲良くなってしまう。以前、横浜にある社会福祉法人訪問の家『集』のおまつりに参加した時にお会いした理事長の名里晴美さんともすっかり仲良しになって、お手紙をやり取りしたりリモート交流をしたりしていたのでした。



今回は名里さんがサプライズで『集』からリモート交流に参加してくれ、やっぱりおまつりの時にお会いした施設長の鈴木さん・職員の川端さんとも久しぶりにお話することができました。お互いの近況を確認したり、施設での活動の様子を情報交換したり、それはそれは楽しい時間を過ごしたのでした。

全国的に感染も一段落。でもまだまだ予断は許せません。再び行ったり来たりして笑いあって会えるその日まで、時にはお手紙で、時にはリモートでつながりあっていきたいですね！（記：山口）



—昨年のおまつりの時の仲良し4人組

けやき芋煮会～！

年に一度ある休日開館。今年は何をしようかとみんなで考えて・・・秋と言えば・・・芋煮～！！！！ということで、食べるの大好きけやきグループは芋煮会をすることに決めました。そして芋煮も、いつも食べている味噌味とお隣山形の牛肉の入った醤油味の2種類を作って食べ比べをしてみることに♪

当日は、炊き込みご飯も作り、芋煮は利用者さんと職員で一緒に作りました。材料を鍋に入れる作業を手伝う望さんや、匂いに誘われ何度も見に来る勝一さん、早く食べたくてお椀を持っている今さんと、みんな楽しみな様子で待っていました。火にかけて出来上がるまでの時間は、山形の大きな鍋で作る芋煮会フェスティバルの映像を見て過ごしました。

そして・・・みんなが待っていた芋煮が出来上がりましたー(～♪
食べ比べた結果は、どちらもおいしくてみんな笑顔でお腹いっぱいになるまで食べました。やっぱりね♡

来年は、青空の下みんなでワイワイ楽しく芋煮会ができることを願って
(*^-^*)



いろいろ

炭火で 焼こう！

くるみグループでは、今年度も野菜を育てました。枝豆とブロッコリー、とうもろこしに毎日せっせと愛情を込めて水やりをして、成長した野菜たち。収穫の時期になり、とうもろこしは「焼きとうもろこしにしたいね！」との声上がり、外でBBQをすることにしました。くるみグループが外で火の準備をしていると、他のグループのメンバーも

そろそろと焼くものを持って集まりまってきました。愛子さんがうちわを仰いで「ちょっと待ってね～」と張り切って火を起こします。いつの間にかたくさんの方が外に出てきて焼けるのを待っていました。とうもろこしだけでなく、ソーセージやマッシュマロ、さつまいもを焼いてみんなで食べる幸せなひととき。みんなで外で食べるこってこんなに楽しかったんだと改めて感じました。新型コロナウイルス感染予防で外食がなかなかできず、お部屋で黙食する日々が続いていますが、またみんなでワイワイと食事ができる日を心待ちにして。新型コロナウイルスよ、煙と共に飛んでけ～。(記：安藤)



ひがしものを求めて 塩釜へ・・・



10月19日にさんしょの早川奈津子さんとけやきの尾崎有さんとで塩釜へひがしものを食べに行ってきました。三陸東沖で、9月～12月にかけて水揚げされたメバチマグロのうち、「鮮度」「色つや」「脂のり」「うまみ」に優れ、塩釜にいる日本一の目利き人（仲買人）の目にかなったものだけが「三陸塩鰯ひがしもの」と呼ばれています。今回は、「鮭のしおがま」へ行き、なんとカウンターでお寿司を食べてきました!!

有さんは、「おすす（お寿司）まだ?」「おちゃおちゃ（お茶）」とニコニコ笑顔で楽しみにしている様子でした。お寿司屋さんの大将が、マグロの説明やお寿司の握り方を話して下さい、「待っててね～」

と気さくにお話をしてくれました。1貫ずつカウンターにお寿司を置いてくれ、みんなで大興奮しながらお寿司を頂きました。

奈津子さんは、まぐろづくし5貫を食べました。「おいしい」と何度も手を挙げて、「うーん」と声を出して味わっていました。

有さんは、ホタテが気に入ったようで、パクパクと美味しそうに食べていました。大将の心遣いと美味しいお寿司に舌鼓を打ち、「ひがしもの」を堪能してきました。

久しぶりの外食で、奈津子さんも有さんも満足そうな表情でした。また美味しい物を食べに行きましょうね♪（記：佐藤唯）



ホッと一息、カフェ外出



これから皆様にお勧めしたいカフェをご紹介します。

もみじの道代さん・翠さん・めいぷるの七海さん・安奈さんと一緒に、久しぶりの女子会に行ってきました。JR陸前浜田駅より徒歩5分にある『モラモラカフェ』は海沿いに建つ一軒家で、窓辺に作られた低めのカウンターテーブルから日本三景松島を眺める素敵な場所です。当日は天気も良く、穏やかに波が打ち寄せていました。翠さんの車いすを押してカフェの玄関入口に立つと段差があり、店内にも大きな段差が2段あることに気がきました。どうしようかと考えている

と、2名の店員さんが「お手伝いしますよ!」と声をかけてくれ、車いすを眺めのよいカウンター席に運んでくださいました。帰る際にもお手伝いいただき、とても助かりました。優しいお言葉をかけて頂き、本当にありがとうございました。

雰囲気がよく、和やかな、眺めの良い、モラモラカフェにぜひまた、行きたいなあと思います。（記：佐藤亮）



権利擁護・虐待防止委員会研修 ～意思決定支援とは～

仙台つどいの家職員を対象に権利擁護・虐待防止委員会主催で意思決定支援についての研修を行いました。

「意思決定支援」とは意思決定に困難を抱える人が、日常生活や社会生活等に関して自分自身がしたい意思が反映された生活を送ることが可能となるように、その人を支援することやその仕組みをいいます。特に重いしょうがいがある方は、意思を表出しているのにも関わらずそのサインに支援者が気が付けなかったり、家族や支援者の意思が少なからず反映されてしまうことがあると感じています。

昨年度権利擁護委員会では、全事業所を対象に「利用者の意思決定が出来た事例」「利用者の意思決定が出来なかった事例」を計137事例集計し「意思決定支援事例集」を作成しました。

今回の研修ではつどいの家で実際にあった事例を読み解き、どのようにすれば重いしょうがいのある方の意思が尊重されるか研修で考えていきました。その中で意思決定を叶えるには大きく分けて2つのポイントが大事だと感じました。

一つ目は「ご本人を良く知る」こと。「何が好きで何が苦手か」「どんな強みがあるか」「どんな提示方法が伝わりやすいか」「どこまで伝わっているか」など支援者が知っていくことによってご本人の意思をより明確に引き出せると感じました。

二つ目は「たくさん失敗する」こと。今回の事例集にはつどいで実際にあった67個の失敗事例が上がりました。ご本人の意思決定が叶わず、パニックになったり、不快な表情を浮かべる事例がありました。しかし、失敗してご本人の新たな一面を知ったり、「次はこうしよう」と失敗を生かす姿勢こそが意思決定支援の第一歩だと感じました。
(記：松原)

《個別支援計画について》

10月27日、法人の内部研修「個別支援計画について」が開催されました。個別支援計画とは、本人の望む生活が出来る様に本人の意向・希望、特性などを踏まえて、支援を組み立てることを指します。福祉サービスの利用者さんのそれぞれに相談支援事業者が本人・ご家族とアセスメントを行い、サービス等利用計画を作成し、サービス事業所が相談支援事業者と本人・ご家族とアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。

また、個別支援計画を立てて終了するのではなく、日常活動の様子を振り返り、支援計画作成時以降の本人の状況・状態・環境・希望の変化、支援計画の実施度・本人の満足度の確認（中間評価）や支援計画の実施度・達成度、本人・ご家族の満足度、支援計画による変化・効果（年度末評価）により、今後どう繋げるかの確認が行われています。

講義の中では、実際に使用されている利用者さんの希望・課題整理票、個別支援計画書を参考に個別支援計画の考え方、立て方等の詳細を聞くことが出来ました。その中で、個別支援計画が毎年同じような目標・内容になりがち、時には新しいことに挑戦してみたり、ぶっ飛んだことをやってみたりするのもいいかもしれない…という話があり、改めてこれまでの個別支援計画を確認しようと感じられた研修になりました。
(記：阿部真)



Close-up!

しなだたかふみ 品田貴文さん

今回の Close-up ! は品田貴文さんです。

細やかな気配りが出来る方で、情に厚く、困っている人がいるとすぐに助けてあげる素敵な方です。

品田さんは外での移動の際には車いす、施設内では歩行器を使用しています。車いすの色は品田さんがあこがれている桜木花道のイメージカラーである赤色です!



そんな品田さんの好きなものはたくさんあり、例えばスラムダンクや少年漫画、アニメ、特撮ヒーローもの、金八先生などがあります。

石ノ森章太郎漫画館へ行った際には展示物をじっくりと見ていたり、仮面ライダーのバイクに乗れる体験をして、とても興奮した様子でした。

皆さんもつどいの家に立ち寄った際にはぜひ品田さんに話しかけてみてください。
(記 渡辺)



職員コラム

いしきだみさき



ナスです!

今回は... 石木田美咲希さんです!

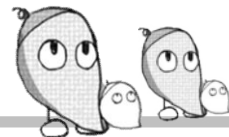
初めまして(^-^)/10月から仙台つどいの家でお世話になっています、看護師の石木田美咲希です。毎日皆さんと楽しく笑顔で過ごしています。

私は秋田県の雪深い地域の出身なのですが、仙台の気温にも慣れ“寒いものは寒い!”と、今の時期から寒さに震えています(^;それでも、秋田より雪がかなり少なく除雪がいらいない快適な生活を送れていることが凄く嬉しいです。

冬の凍てつく寒さの中、澄みきった夜空に打ちあがる冬花火・雪像祭りで出る沢山の屋台など、故郷を離れると恋しくなったりもします。

仙台の生活にすぐに慣れたように、つどいの家での勤務にも早く慣れるよう頑張ります。

よろしくお願ひします。



スケジュール schedule

令和3年 12月

- 1日 (水) 法人実践発表会 13:30 降所
- 2日 (木) 生け花
- 5日 (日) 職員採用試験
- 8日 (水) 防災訓練
- 9日 (木) 音楽療法
- 10日 (金) フードドライブ
- 14日 (火) すてーじ
- 15日 (水) 防災ネットワーク訓練
- 16日 (木) 生け花
- 17日 (金) 施設懇談会
- 20日 (月) ケース会議 13:30 降所
- 23日 (木) 音楽療法
- 28日 (火) ケース会議 13:30 降所



令和4年 1月

- 13日 (木) 音楽療法
- 14日 (金) 防災ネットワーク訓練
フードドライブ
- 18日 (火) 施設懇談会
- 24日 (月) ケース会議 13:30 降所
- 27日 (木) 音楽療法、職員会議
- 28日 (金) 内部研修

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(9月15日～11月12日まで)

吉田さん、加藤さん



見学・来訪者など

音楽療方向井田先生、東北福祉大 菅原さん・青柳さん、ブルームビルド株式会社（ご寄付）、見学 栗栖さん・青戸さん、各区分調査員の方、後援会針持会長、東北高校の生徒、柘田小の先生・生徒、小松島支援学校の先生・生徒・保護者、ハンズ仙台、ヤクルト、今庄青果、アグリ仙台、マルイ、マルキ水産、サトー商会、ダスキン、ほまれフーズ、東北食材、日本テクノ、JCI 瀬戸さん、タカラ米穀、ホシザキ東北、まんさく工房、風の郷、仙台大気堂、日本環境衛生研究所、ブルーム、千葉商店

法人職員：佐藤（吉）、飯田、佐藤（秋）、三浦、榊原ほか多数

(以上、ご芳名順不同)

缶回収

9・10月の納品額

合計 7550円でした。

ご協力ありがとうございました。

編集後記

秋も深まり、果物がおいしい季節になりましたね。我が家では母方の実家で採れた大量の柿の消費に苦戦している真っ最中です。

また朝晩の寒さも厳しくなり、すでにこたつもリビングにお目見えするようになりましたが、足を入れると中にいる猫（常駐）にもれなく噛まれるのが最近の悩みの一つです。こたつから出たくないのは人も猫も一緒なんですね～…。

(記：寺島)